

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月11日		(水)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	1F 4m盤エリアフェーシング工事(その5)									
	発生場所	2.5m盤エリア(GN-08中央)						2018/4/4	2018/4/4	2018/4/4	
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/19	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-GMAD-245	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β + γ 線量率
1	プラスチック・ビニール			A	02	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2								m ²			
3								m ²			
4								m ²			
5								m ²			
メモ	回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0040
				2018/4/4
調整後保管日時		2018年4月11日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/4/11 8:00	1.4 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013111 - 0003		
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月11日		(水)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	1F 4m盤エリアフェーシング工事(その5)										
	発生場所	2.5m盤エリア(GN-08中央)						2018/4/4	2018/4/4	2018/4/4		
	作業主管G	地下水調査グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/3/19	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-GMAD-245		
	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
1	プラスチック・ビニール				①	②	③	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無	
2								m ²				
3								m ²				
4								m ²				
5								m ²				
メ モ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0041
				2018/4/4
調整後保管日時		2018年4月11日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β+γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
	1	1	プラスチック・ビニール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/4/11 8:00	1 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			
												m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
①	B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
			06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
			11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
①	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
			01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
②	D	伐 採 木	状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013111 - 0003

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月11日		(水)	12:30		承認	審査	作成		
	作業件名	1F 4m盤エリアフェーシング工事(その5)									
	発生場所	2.5m盤エリア(GN-08中央)						2018/4/4	2018/4/4	2018/4/4	
	作業主管G	地下水調査グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/3/20	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-GMAD-245	
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率
1	プラスチック・ビニール			A	02	D	B	5 m ²	0.01 mSv/h	0.01 mSv/h	無
2								m ²			
3								m ²			
4								m ²			
5								m ²			
メ モ	回収										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0042
				2018/4/4
調整後保管日時		2018年4月11日		8:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	プラスチック・ビニール	2 μSv/h	2 μSv/h		エリアO	2018/4/11 8:00	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013102 - 0002

作業主管理	保管希望日時	2018年4月9日		(月)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	土捨場北側土地造成工事									
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2018/4/4	2018/4/4	2018/4/4	
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
G記入欄	線量測定年月日	2018/2/26		測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-74
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	大型土嚢			① ② ③	5 m ³	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無		
	2					m ³					
	3					m ³					
メ モ	4					m ³					
	5					m ³					
回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0046
				2018/4/4
調整後保管日時		2018年4月9日		8:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	大型土嚢	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/4/9 8:00	5 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

計上No.	6013102 - 0002
-------	----------------

作 業 主 管 G	保管希望日時	2018年4月9日		(月)	9:30		承認		審査		作成						
	作業件名	土捨場北側土地造成工事															
主 管 G	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内 (GM-06 東)						2018/4/4		2018/4/4		2018/4/4					
	作業主管 G	廃棄物基盤グループ				監理員				TEL							
管 G	元請会社					担当者				TEL							
	線量測定年月日	2018/2/26		測定者				測定器名		ICWBL		管理番号 F1-ICWBL-74					
記 入 欄 メ モ	No.	保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率	
		①		②		③											
	1	紙		A	01	W	B	2	m ²	3	μSv/h	3	μSv/h	無			
	2							m ²									
	3							m ²									
	4							m ²									
	5							m ²									
メモ	回収																

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	04	—	0047	
調整後保管日時		2018年4月9日			9:30
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年4月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用／ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$							
1	1	紙		2	$\mu\text{Sv/h}$	2	$\mu\text{Sv/h}$		エリアO	2018/4/9 8:30	0.8 m^3			1
											m^3			
											m^3			
											m^3			
											m^3			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0002											
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月10日		(火)	8:00		承認	審査	作成												
	作業件名	土捨場北側土地造成工事																			
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)					2018/4/4	2018/4/4	2018/4/4												
	作業主管G	廃棄物基盤グループ			監理員			TEL													
	元請会社				担当者			TEL													
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-74											
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率												
		①	②	③																	
		1	木くず・パレット	A						03	D	B	4	m ³	3	μSv/h	3	μSv/h	無		
		2											m ³								
		3											m ³								
		4											m ³								
5						m ³															
回収																					

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	04	—	0048	2018/4/4
調整後保管日時		2018年4月10日		8:00	
【保管時の指示事項等】					
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日	2018年4月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h					4	m ³			
1	1	1	木くず・パレット	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/4/10 8:00	4	m ³			1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013102 - 0002		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年4月10日		(火)	9:30		承認	審査	作成			
	作業件名	土捨場北側土地造成工事										
	発生場所	1F 土捨場北側土地造成工事エリア内(GM-06 東)						2018/4/4	2018/4/4	2018/4/4		
	作業主管G	廃棄物基盤グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/26	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	F1-ICWBL-74		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
1	木くず・パレット		A	03	D	B	4 m ³	3 μ Sv/h	3 μ Sv/h	無		
2							m ³					
3							m ³					
4							m ³					
5							m ³					
メモ	回収											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				2018/4/4
高2018	—	04	—	
調整後保管日時		2018年4月10日		9:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容				
測定日	2018年4月10日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	木くず・パレット	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/4/10 8:45	4 m ³				1
								m ³				
								m ³				
								m ³				
								m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メモ

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0040	
---------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----------------------	--

作業主管理G記入欄	保管希望日時	2018年4月9日		(月)	10:00		承認		審査		作成													
	作業件名	タンク連結管他点検関連																						
	発生場所	C/J1タンクエリア (GT-23 北)						2018/4/4		2018/4/4		2018/4/4												
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員				TEL														
	元請会社					担当者				TEL														
	線量測定年月日	2018/3/29		測定者				測定器名		電離箱サーベイメータ		管理番号												
	F1-ICWBL-9																							
No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β ・ α 汚染の有無	β + γ 線量率													
		①	②	③																				
		1	可燃物その他	A									04	D	A	5	m ²	0.001	mSv/h	0.001	mSv/h	無		
		2													m ²									
		3													m ²									
		4													m ²									
5					m ²																			
×	回収																							
モ																								

固体廃棄物管理G記入欄					受付	
受 付 番 号						
高2018	—	04	—	0050	2018/4/5	
調整後保管日時			2018年4月9日		10:00	
【保管時の指示事項等】						
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。						

線量測定内容			
測定日	2018年4月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/4/9 10:00	2.5 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
×												
モ												

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有	11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
				01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 β + γ 線量率欄に「 β + γ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 β + γ 線量率の記載不要。

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票												計上No. 6013708 - 0040		固体廃棄物管理G記入欄		受付								
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時		2018年4月11日				(水)		10:00		承認		審査		作成									
	作業件名		タンク連結管他点検関連																					
	発生場所		C/J1タンクエリア(GT-23 北)										2018/4/4		2018/4/4		2018/4/4							
	作業主管G		貯留設備グループ				監理員				TEL													
	元請会社						担当者				TEL													
	線量測定年月日		2018/3/30		測定者				測定器名		電離箱サーベイメータ		管理番号		F1-ICWBL-80									
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β ・ α 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率							
						① ② ③																		
	1		紙・ウエス類			A 01 D A			5 m ²		0.001 mSv/h		0.001 mSv/h		無									
	2								m ²															
3								m ²																
4								m ²																
5								m ²																
回収																								
線量測定内容																								
測定日		2018年4月11日																						
測定No.		氏名		測定器		管理番号																		
1				ICW		F1-ICW-158																		
2																								
3																								
4																								
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.		枝番		保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.	
	1		1		紙・ウエス類		2 μ Sv/h		2 μ Sv/h				エリアO		2018/4/11 10:00		2.1 m ²						1	
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
																	m ²							
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																								
※カテゴリ																								
①																								
A 可燃物																								
01 紙・ウエス類																								
02 プラスチック・ホリ・ビニール類																								
03 木材類																								
04 可燃物その他																								
05 -																								
06 -																								
07 -																								
08 -																								
09 -																								
10 -																								
B 不燃物																								
01 金属ガラ																								
02 コンクリートガラ																								
03 機器類・制御盤類																								
04 土砂類																								
05 塩化ビニール類																								
06 保温材																								
07 石綿含有物																								
08 ケーブル類																								
09 アスファルトガラ																								
10 不燃物その他																								
11 フランジタンク本体																								
12 フランジタンク付属品																								
13 -																								
14 -																								
15 -																								
C 難燃物																								
01 ゴム類																								
02 難燃シート類																								
03 ホース類																								
04 難燃物その他																								
05 -																								
D 伐採木																								
01 伐採木(幹・根)																								
02 伐採木(枝・葉)																								
03 -																								
04 -																								
05 -																								
② 状態 D:乾燥, W:湿気有																								
③ 履歴																								
A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																								
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)																								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。																								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0040		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年4月12日		(木)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	タンク連結管他点検関連										
	発生場所	G/J1タンクエリア (GT-23 北)					2018/4/4	2018/4/4	2018/4/4			
	作業主管 G	貯留設備グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
	線量測定年月日	2018/3/29	測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-9		
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類		A	02	D	A	5 m ²	0.001 mSv/h	0.001 mSv/h	無	
	2							m ²				
	3							m ²				
4							m ²					
5							m ²					
メモ	回収											

線量測定内容				
測定日	2018年4月12日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICW	F1-ICW-158	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/4/12 8:50	3.2 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
		C	難燃物	01	フランジタンク本体	02	フランジタンク付属品	03	—	04	—	05	—
D	伐採木	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013708 - 0040				
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	10:00		承認	審査	作成					
	作業件名	タンク連結管他点検関連												
	発生場所	G4/H9/H9Wタンクエリア(GT-23 北)					2018/4/4	2018/4/4	2018/4/4					
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL						
	元請会社				担当者			TEL						
G	線量測定年月日	2018/3/30		測定者			測定器名	電離箱サーベイメータ		管理番号	F1-ICWBL-80			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
		①	②	③										
	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	A	02	D	A	5	m ³	0.001	mSv/h	0.001	mSv/h	無	
	2							m ³						
3							m ³							
入欄メモ	4						m ³							
	5						m ³							
回収														

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	04	—	0054	2018/4/5
調整後保管日時		2018年4月13日			9:00
【保管時の指示事項等】 時間調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。					

線量測定内容			
測定日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1			
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
			中止									m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			
												m ³			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013112 - 0005														
作業主	保管希望日時	2018年4月9日		(月)	8:00		承認	審査	作成															
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事																						
	発生場所	H4N						2018/4/5	2018/4/5	2018/4/5														
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL															
	元請会社					担当者			TEL															
管	線量測定年月日	2018/4/5		測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	F1-ICWBL-77													
	No.	保管物名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率												
			①	②	③																			
			1	コンガラ	B								02	D	A	14	m ²	0.002	mSv/h	0.02	mSv/h	β 有	0.8	mSv/h
			2	鋼製堰	B								01	D	A	1	m ²	0.002	mSv/h	0.001	mSv/h	β 有	0.1	mSv/h
3																								
4																								
5																								
メモ	土のうにてW1に運搬15袋																							

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0058
				2018/4/5
調整後保管日時		2018年4月9日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	1.2 mSv/h	エリアW1	2018/4/9 8:20	14 m ²			1
	2	1	鋼製堰	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	30 μ Sv/h	エリアW1	2018/4/9 8:20	1 m ²			1
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
	01			伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013112 - 0005

作業主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月9日	(月)	9:00	承認	審査	作成			
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事								
	発生場所	H4N			2018/4/5	2018/4/5	2018/4/5			
	作業主管G	貯留設備土木グループ		監理員	TEL					
	元請会社			担当者	TEL					
	線量測定年月日	2018/4/4	測定者		測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-77		
	No.	※カテゴリ			物量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
1	砕石	B	04	D	A	15 m ³	0.002 mSv/h	0.015 mSv/h	β 有	0.9 mSv/h
2						m ³				
3						m ³				
4						m ³				
5						m ³				
土のうにてW1に運搬15袋										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	04	—	0059
				2018/4/5
調整後保管日時		2018年4月9日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績 記入欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	砕石	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	2 mSv/h	エリアW1	2018/4/9 8:10	15 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01 紙・ウェス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不燃物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
	01 伐採木(幹・根)			02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
	D	伐採木						
	② 状態		D:乾燥, W:湿気有		③ 履歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013112 - 0005

作業主管理	保管希望日時	2018年4月9日		(月)	10:00	承認	審査	作成	
	作業件名	H1, 2エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事							
	発生場所	H4N					2018/4/5	2018/4/5	2018/4/5
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員	TEL			
	元請会社				担当者	TEL			
	線量測定年月日	2018/4/4	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター	管理番号	F1-ICWBL-77
記入欄	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
		①	②	③					
	1	コンガラ	B 02	D A	15 m ³	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	0.3 mSv/h
	2				m ³				
	3				m ³				
	4				m ³				
メモ	土のうにてW1に運搬15袋								

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0060
				2018/4/5
調整後保管日時		2018年4月9日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月9日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンガラ	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	3 mSv/h	エリアW1	2018/4/9 8:00	15 m ³			1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0016					
作業主管理	保管希望日時	2018年4月9日		(月)	11:00		承認	審査	作成						
	作業件名	G6エリアタンク基礎他設置並びに関連除却工事													
	発生場所	G6エリア					2018/4/5	2018/4/5	2018/4/5						
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL							
	元請会社				担当者			TEL							
	線量測定年月日	2018/4/4	測定者			測定器名	ICWBL		管理番号	T-ICWBL-04					
	No.	保管物名		※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
1	金属スクラップ		B	01	D	B	2	m ²	0.003	mSv/h	0.1	mSv/h	β 有	0.11	mSv/h
2	汚染ゴムマット		C	01	D	B	3	m ²	0.003	mSv/h	0.8	mSv/h	β 有	0.8	mSv/h
3	ボルト類		B	01	D	A	4	m ²	0.003	mSv/h	0.8	mSv/h	β 有	0.8	mSv/h
4								m ²							
5								m ²							
メモ	土のうにてW1に運搬15袋														

線量測定内容				
測定日	2018年4月9日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-105	
2				
3				
4				

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	100	μ Sv/h			2	m ²			
1	1	金属スクラップ	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	100	μ Sv/h	エリアW1	2018/4/9 10:00	2	m ²			1	
2	1	汚染ゴムマット	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	120	μ Sv/h	エリアW1	2018/4/9 10:00	3	m ²			1	
3	1	ボルト類	10	μ Sv/h	10	μ Sv/h	200	μ Sv/h	エリアW1	2018/4/9 10:00	4	m ²			1	
												m ²				
												m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
				01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」						

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月10日		(火)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(平成30年度)									
	発生場所	南側埋立ヤード(GH-26 北西)						2018/4/5	2018/4/5	2018/4/5	
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
線量測定年月日	2018/3/26	測定者				測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	可燃物その他(草・落葉)	A	04	W	A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無	
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
メモ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 回収、ロールコンテナ車希望										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0062
				2018/4/5
調整後保管日時		2018年4月12日		8:00
【保管時の指示事項等】 日時調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.	
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h									
1	1	1	可燃物その他(草・落葉)	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/4/12 8:00	6.6 m ²			1	
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																
メモ																

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013107 - 0001

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月11日		(水)	8:00		承認	審査	作成	
	作業件名	構内排水路清掃業務委託(平成30年度)								
	発生場所	南側埋立ヤード(GH-26 北西)						2018/4/5	2018/4/5	2018/4/5
	作業主管G	土木保全・総括グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/27	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-120
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率
1	可燃物その他(草・落葉)			① A ② 04 ③ W A	5 m ²	0.01 mSv/h	0.02 mSv/h	無		
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 回収、ロールコンテナ車希望										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0063
				2018/4/5
調整後保管日時		2018年4月13日		8:00
【保管時の指示事項等】 日時調整をしています。 発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	可燃物その他(草・落葉)	2 μ Sv/h	13 μ Sv/h		エリアO	2018/4/13 8:00	6 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)								
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。								
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。								

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月10日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A					2018/4/6	2018/4/6	2018/4/2		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員		TEL				
	元請会社				担当者		TEL				
	線量測定年月日	2018/1/19	測定者		測定器名	F1-ICWBL、H	管理番号	100,189,29			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板 (T170267)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	3 mSv/h
	2	フランジタンク片側板 (T170300)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	60 mSv/h
	3	フランジタンク片側板 (T170285)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	250 mSv/h
	4	フランジタンク片側板 (T170294)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	250 mSv/h
	5	フランジタンク片側板 (T170220)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	30 mSv/h
メ モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0075
				2018/4/6
調整後保管日時		2018年4月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板 (T170267)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170267	1
	2	1	フランジタンク片側板 (T170300)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170300	1
	3	1	フランジタンク片側板 (T170285)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170285	1
	4	1	フランジタンク片側板 (T170294)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170294	1
	5	1	フランジタンク片側板 (T170220)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170220	1

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管G 記入欄	No.	保管物名	※カテゴリ				物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
			①		②										
	6	フランジタンク片側板(T170281)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	20	mSv/h
	7	フランジタンク片側板(T170216)	B	11	D	A	21	m ²	0.003	mSv/h	0.007	mSv/h	β 有	60	mSv/h
	8	フランジタンク片側板(T170211)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	60	mSv/h
	9	フランジタンク片側板(T170184)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.004	mSv/h	β 有	5	mSv/h
	10	フランジタンク片側板(T170226)	B	11	D	A	21	m ²	0.004	mSv/h	0.01	mSv/h	β 有	20	mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	04	—	0075

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	フランジタンク片側板(T170281)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21	m ²		T170281	1
	7	1	フランジタンク片側板(T170216)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21	m ²		T170216	1
	8	1	フランジタンク片側板(T170211)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21	m ²		T170211	1
	9	1	フランジタンク片側板(T170184)	2	μ Sv/h	4	μ Sv/h	4	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21	m ²		T170184	1
	10	1	フランジタンク片側板(T170226)	2	μ Sv/h	9	μ Sv/h	10	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21	m ²		T170226	1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月10日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A									
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2018/1/29	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	100,29	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	フランジタンク片側板 (T170199)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	5 mSv/h
	2	フランジタンク片側板 (T170212)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	70 mSv/h
	3	フランジタンク片側板 (T170180)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	70 mSv/h
4						m ²					
5						m ²					
メ モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0076
				2018/4/6
調整後保管日時		2018年4月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板 (T170199)	2 μSv/h	4 μSv/h	4 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170199	1
	2	1	フランジタンク片側板 (T170212)	2 μSv/h	7 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170212	1
	3	1	フランジタンク片側板 (T170180)	2 μSv/h	6 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170180	1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0077
				2018/4/6
調整後保管日時		2018年4月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月10日		(火)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A					2018/4/6	2018/4/6	2018/4/2		
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/1/25	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	100,29	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片底板 (T170295)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	120 mSv/h
	2	フランジタンク片底板 (T170284)	B	11	D	A	21 m ²	0.007 mSv/h	0.01 mSv/h	β 有	200 mSv/h
3	フランジタンク片底板 (T170229)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	180 mSv/h	
4	フランジタンク片底板 (T170171)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	350 mSv/h	
5						m ²					
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。											

線量測定内容			
測定日	2018年4月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片底板 (T170295)	2 μSv/h	4 μSv/h	4 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170295	1
	2	1	フランジタンク片底板 (T170284)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170284	1
	3	1	フランジタンク片底板 (T170229)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170229	1
	4	1	フランジタンク片底板 (T170171)	2 μSv/h	12 μSv/h	12 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170171	1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」			

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013704 - 0018		
作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月10日		(火)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)										
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/4/6	2018/4/6	2018/4/2		
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
	線量測定年月日	2018/2/5	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	221,100,14		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
		①	②	③								
	1	フランジタンク片底板 (T170193)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	β有	180 mSv/h	
	2	フランジタンク片底板 (T170190)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.008 mSv/h	β有	100 mSv/h	
	3	フランジタンク片底板 (T170240)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	β有	250 mSv/h	
	4	フランジタンク片底板 (T170191)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	β有	300 mSv/h	
	5						m ²					
メ モ	注: α有、β α有の場合、α線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0078
				2018/4/6
調整後保管日時		2018年4月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片底板 (T170193)	2 μSv/h	6 μSv/h	10 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170193	1
	2	1	フランジタンク片底板 (T170190)	2 μSv/h	6 μSv/h	6 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170190	1
	3	1	フランジタンク片底板 (T170240)	2 μSv/h	6 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170240	1
	4	1	フランジタンク片底板 (T170191)	2 μSv/h	6 μSv/h	10 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170191	1
									m ²			
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票															計上No.		6013214 - 0003			
作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年4月11日				(水)		9:00				承認		審査		作成			
	作業件名		固体廃棄物関連施設修理工事																	
	発生場所		GO-17、GP-17エリア 北東												2018/4/6		2018/4/6		2018/4/6	
	作業主管G		建築廃棄物対策グループ				監理員						TEL							
	元請会社						担当者						TEL							
	線量測定年月日		2018/4/5		測定者				測定器名		ICW(β)		管理番号		F1-ICW-364					
	No.		保管物名				※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β・α 汚染の有無		β + γ 線量率			
	1		紙・ウエス類				A 01 W B		1 m ²		7 μSv/h		7 μSv/h		無					
	2		プラスチック・ポリ・ビニール類				A 02 W B		1 m ²		7 μSv/h		7 μSv/h		無					
	3								m ²											
4								m ²												
5								m ²												
メ モ		GP-18 南側																		

固体廃棄物管理G記入欄										受付	
受付番号											
高2018		—		04		—		0079		2018/4/6	
調整後保管日時				2018年4月11日				9:00			
【保管時の指示事項等】											
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。											

線量測定内容									
測定日		2018年4月11日							
測定No.	氏名	測定器	管理番号						
1		ICW	F1-ICW-158						
2									
3									
4									

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μSv/h	2	μSv/h								
	1	1	紙・ウエス類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/4/11 8:50	0.4 m ²			1
	2	1	プラスチック・ポリ・ビニール類	2	μSv/h	2	μSv/h			エリアO	2018/4/11 8:50	0.1 m ²			1
												m ²			
												m ²			
												m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)												
	注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。														

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0080
				2018/4/6
調整後保管日時		2018年4月10日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月10日		(火)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	定検機材倉庫A							2018/4/6	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/1	測定者			測定器名	F1-ICWBL,H		管理番号	
								100,14		
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
	1	フランジタンク片底板(T170230)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有
2	フランジタンク片底板(T170165)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	160 mSv/h
3	フランジタンク片底板(T170198)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	150 mSv/h
4						m ²				
5						m ²				

注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。
※20ftコンテナに積み込み、保管致します。

線量測定内容			
測定日	2018年4月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片底板(T170230)	2 μSv/h	6 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170230	1
	2	1	フランジタンク片底板(T170165)	2 μSv/h	6 μSv/h	6 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170165	1
	3	1	フランジタンク片底板(T170198)	2 μSv/h	7 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m ²		T170198	1
									m ²			
									m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		D	伐 採 木					
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ 線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄					受付
受 付 番 号					
高2018	—	04	—	0081	
					2018/4/6
調整後保管日時		2018年4月10日			10:00
【保管時の指示事項等】					

線量測定内容			
測定日	2018年4月10日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

作 業 主	保管希望日時	2018年4月10日				(火)		10:00				承認		審査		作成		
	作 業 件 名	タンク減容・保管委託(H30)																
主	発 生 場 所	定検機材倉庫A										2018/4/6		2018/4/6		2018/4/2		
	作 業 主 管 G	貯留設備グループ						監 理 員						TEL				
管	元 請 会 社							担 当 者						TEL				
	線量測定年月日	2018/3/6		測定者				測定器名		F1-ICWBL,H				管理番号		100,14		
G	No.	保 管 物 名				※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β ・ α 汚染の有無		β + γ 線量率	
	①		②		③													
記 入 欄	1	フランジタンク片側板(T170187)				B	11	D	A	21	m ²	0.001	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	15	mSv/h
	2	フランジタンク片側板(T170164)				B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	8	mSv/h
	3	フランジタンク片側板(T170169)				B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	30	mSv/h
	4	フランジタンク片側板(T170163)				B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	25	mSv/h
	5	フランジタンク片側板(T170299)				B	11	D	A	21	m ²	0.003	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	70	mSv/h
メモ	注: α 有、 β α 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積込み、保管致します。																	

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所	表面線量率	$\beta + \gamma$	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				雰囲気線量率		線量率						
	1	1	フランジタンク片側板(T170187)	2 μ Sv/h	6 μ Sv/h	8 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m^3		T170187	1
	2	1	フランジタンク片側板(T170164)	2 μ Sv/h	6 μ Sv/h	9 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m^3		T170164	1
	3	1	フランジタンク片側板(T170169)	2 μ Sv/h	6 μ Sv/h	6 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m^3		T170169	1
	4	1	フランジタンク片側板(T170163)	2 μ Sv/h	6 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m^3		T170163	1
	5	1	フランジタンク片側板(T170299)	2 μ Sv/h	10 μ Sv/h	10 μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/10 10:00	21 m^3		T170299	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メモ												

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウェス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—	
		②	状態	D:乾燥、W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」 B:「工事のために持ち込まれた物」							

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月11日		(水)	8:00		承認	審査	作成		
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	Bエリア						2018/4/9	2018/4/5	2018/4/5	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/3/6		測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-101
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	15 m ²	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h
	2						m ²				
	3						m ²				
4						m ²					
5						m ²					
メモ	W1ヤードに積み上げ(フレコンパック15袋)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0083
				2018/4/9
調整後保管日時		2018年4月11日		8:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ	10 μSv/h	10 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/4/11 8:00	15 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 欄	保管希望日時	2018年4月11日		(水)	9:00		承認	審査	作成	
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア					2018/4/9	2018/4/5	2018/4/5	
	作業主管G	貯留設備土木グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
G 記 入 欄	線量測定年月日	2018/3/6		測定者			測定器名	βγ用電離箱		
							管理番号	F1-ICWBL-101		
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β+γ 線量率
		①	②	③						
	1	コンクリートガラ	B	02	D	A	15 m ²	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有
メ モ	2					m ²				
	3					m ²				
	4					m ²				
	5					m ²				
	W1ヤードに積み上げ(フレコンパック15袋)									

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0084
				2018/4/9
調整後保管日時		2018年4月11日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	コンクリートガラ	10 μSv/h	15 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/4/11 9:00	15 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
	②	C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
	③	D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0015

作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月11日		(水)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事								
	発生場所	Bエリア						2018/4/9	2018/4/5	2018/4/5
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL	
	元請会社					担当者			TEL	
	線量測定年月日	2018/3/6	測定者			測定器名	βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-101
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の 有無	β+γ 線量率
1	アスファルトガラ			① B 09 ② D ③ A	15 m ²	0.008 mSv/h	0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h	
2					m ²					
3					m ²					
4					m ²					
5					m ²					
W1ヤードに積み上げ(フレコンパック15袋)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0085
				2018/4/9
調整後保管日時		2018年4月11日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月11日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-105
2			
3			
4			

保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β+γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	アスファルトガラ	10 μSv/h	20 μSv/h	45 μSv/h	エリアW1	2018/4/11 10:00	15 m ²			1
									m ²			
									m ²			
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難 燃 物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013803 - 0015																																																																																					
作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時		2018年4月11日		(水)	11:00		承認		審査	作成																																																																																				
	作業件名		Bエリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事																																																																																												
	発生場所		Bエリア						2018/4/9	2018/4/5	2018/4/5																																																																																				
	作業主管G		貯留設備土木グループ				監理員		TEL																																																																																						
	元請会社						担当者		TEL																																																																																						
	線量測定年月日		2018/3/6		測定者		測定器名		βγ用電離箱		管理番号	F1-ICWBL-101																																																																																			
	No.		保管物名			※カテゴリ		物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率																																																																																	
	1		アスファルトガラ			B 09 D A		15 m ²		0.008 mSv/h		0.1 mSv/h	β有	0.2 mSv/h																																																																																	
	2							m ²																																																																																							
	3							m ²																																																																																							
4							m ²																																																																																								
5							m ²																																																																																								
W1ヤードに積み上げ(フレコンバック15袋)																																																																																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="12">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="10">2018年4月11日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="9">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICWBL</td> <td colspan="9">F1-ICWBL-105</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="9"></td> </tr> </tbody> </table>												線量測定内容												測定日		2018年4月11日										測定No.	氏名	測定器	管理番号									1		ICWBL	F1-ICWBL-105									2												3												4											
線量測定内容																																																																																															
測定日		2018年4月11日																																																																																													
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																												
1		ICWBL	F1-ICWBL-105																																																																																												
2																																																																																															
3																																																																																															
4																																																																																															
保管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		β + γ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.		測定No.																																																																											
	1	1	アスファルトガラ		10 μSv/h		15 μSv/h		30 μSv/h		エリアW1		2018/4/11 11:00		15 m ²					1																																																																											
															m ²																																																																																
															m ²																																																																																
															m ²																																																																																
															m ²																																																																																
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																															
メ モ																																																																																															
※カ テ ゴ リ	①		A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ホリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05		—																																																																																
					06 —		07 —		08 —		09 —		10 —																																																																																		
				B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																																	
						06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																																	
			11 フランジタンク本体			12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —																																																																																			
			01 ゴム類			02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —																																																																																			
			D	伐採木	01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																																		
					01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																																		
	②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																																				
	注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。																																																																																														

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票														計上No. 6013205 - 0003																																																																							
作業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時		2018年4月12日			(木)		9:30			承認		審査		作成																																																																						
	作業件名		事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事																																																																																		
	発生場所		大型休憩所北側資材置場(GT-26 西)										2018/4/5		2018/4/5		2018/4/4																																																																				
	作業主管G		建築総合工事グループ					監理員				TEL																																																																									
	元請会社							担当者				TEL																																																																									
	線量測定年月日		2018/4/2		測定者				測定器名		ICW		管理番号		F1-ICW-219																																																																						
	No.		保管物名			※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無		$\beta + \gamma$ 線量率																																																																				
	1		難燃・ゴム類			C 01 D A			2 m ²		0 mSv/h		0.05 mSv/h		無																																																																						
	2								m ²																																																																												
	3								m ²																																																																												
4								m ²																																																																													
5								m ²																																																																													
回収																																																																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="10">線量測定内容</th> </tr> <tr> <th colspan="2">測定日</th> <th colspan="8">2018年4月12日</th> </tr> <tr> <th>測定No.</th> <th>氏名</th> <th>測定器</th> <th colspan="7">管理番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td>ICW</td> <td colspan="7">F1-ICW-158</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td colspan="7"></td> </tr> </tbody> </table>																線量測定内容										測定日		2018年4月12日								測定No.	氏名	測定器	管理番号							1		ICW	F1-ICW-158							2										3										4									
線量測定内容																																																																																					
測定日		2018年4月12日																																																																																			
測定No.	氏名	測定器	管理番号																																																																																		
1		ICW	F1-ICW-158																																																																																		
2																																																																																					
3																																																																																					
4																																																																																					
保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝番	保管物名		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所		保管日時		物 量		再利用/ 減容可否		コンテナNo.		測定No.																																																																
	1	1	難燃・ゴム類		2 μ Sv/h		2 μ Sv/h				エリアO		2018/4/12 9:50		0.2 m ²						1																																																																
															m ²																																																																						
															m ²																																																																						
															m ²																																																																						
															m ²																																																																						
															m ²																																																																						
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載																																																																																					
メ モ																																																																																					
※カ テ ゴ リ	①	A	可燃物	01 紙・ウエス類		02 プラスチック・ポリ・ビニール類		03 木材類		04 可燃物その他		05 —																																																																									
				06 —		07 —		08 —		09 —		10 —																																																																									
		B	不燃物	01 金属ガラ		02 コンクリートガラ		03 機器類・制御盤類		04 土砂類		05 塩化ビニール類																																																																									
				06 保温材		07 石綿含有物		08 ケーブル類		09 アスファルトガラ		10 不燃物その他																																																																									
				11 フランジタンク本体		12 フランジタンク付属品		13 —		14 —		15 —																																																																									
		C	難燃物	01 ゴム類		02 難燃シート類		03 ホース類		04 難燃物その他		05 —																																																																									
				01 伐採木(幹・根)		02 伐採木(枝・葉)		03 —		04 —		05 —																																																																									
		D	伐採木																																																																																		
		②		状 態		D:乾燥, W:湿気有		③		履 歴		A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」																																																																									
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。) 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。																																																																																					

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0010

作 業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	12:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H5エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H5タンクエリア						2018/4/9	2018/4/9	2018/4/9	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
メ モ	線量測定年月日	2018/3/27		測定者			測定器名	ICW-BL		管理番号	1F-ICWBL-14
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
	1	金属ガラ	B	01	D	A	14 m ³	10 μ Sv/h	0.03 mSv/h	β 有	0.8 mSv/h
	2	紙・ウエス類	A	01	W	B	2 m ³	10 μ Sv/h	0.02 mSv/h	β 有	0.03 mSv/h
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					
8m3コンテナ2基 (No.59,60)											

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0090
				2018/4/9
調整後保管日時		2018年4月13日		9:30
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容			
測定日	2018年4月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-100
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	10	μ Sv/h	20	μ Sv/h	25	μ Sv/h	エリアW1	2018/4/13 8:20	10	m ³		OK-0100	1
	2	1	10m3コンテナ	10	μ Sv/h	20	μ Sv/h	30	μ Sv/h	エリアW1	2018/4/13 8:30	10	m ³		OK-0005	1
													m ³			
													m ³			
														m ³		

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0003		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年4月12日		(木)	10:00		承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事										
	発生場所	大型休憩北川資材置場側駐車場(GT-26 西)					2018/4/10	2018/4/10	2018/4/10			
	作業主管G	建築総合工事グループ			監理員			TEL				
	元請会社				担当者			TEL				
線量測定年月日	2018/4/2	測定者			測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-219			
	No.	保管物名			※カテゴリ	物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
		①	②	③								
	1	可燃・紙ウエス	A 01	D	A	1 m ²	0 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
	2	可燃・プラポリ	A 02	D	A	3 m ²	0 mSv/h	0.01 mSv/h	無			
3					m ²							
4					m ²							
5					m ²							
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受付番号				
高2018	—	04	—	0092
				2018/4/10
調整後保管日時		2018年4月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta + \gamma$ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	可燃・紙ウエス	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/4/12 9:50	0.7 m ²				1
2	1	可燃・プラポリ	2 μ Sv/h	2 μ Sv/h		エリアO	2018/4/12 9:50	0.8 m ²				1
								m ²				
								m ²				
								m ²				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票										計上No. 6013205 - 0003		
作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年4月12日		(木)	10:30		承認	審査	作成			
	作業件名	事務本館ゲートモニタ設置に伴う除却工事										
	発生場所	大型休憩北川資材置場側駐車場(GT-26 西)						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/10		
	作業主管G	建築総合工事グループ				監理員			TEL			
	元請会社					担当者			TEL			
線量測定年月日	2018/4/2	測定者				測定器名	ICW		管理番号	F1-ICW-219		
	No.	保管物名			※カテゴリ		物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率	
		①	②	③								
	1	可燃・木材	A	01	D	A	2 m ³	0 mSv/h	0 mSv/h	無		
	2	可燃・その他	A	02	D	A	3 m ³	0 mSv/h	0.01 mSv/h	無		
3						m ³						
4						m ³						
5						m ³						
注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。												

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0093
				2018/4/10
調整後保管日時		2018年4月12日		10:30
【保管時の指示事項等】				
発生場所にて管理票の確認。 運搬車を配備致しますので 保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	可燃・木材	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/4/12 9:50	1 m ³			1	
2	1	可燃・その他	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/4/12 9:50	1.6 m ³			1	
											m ³				
											m ³				
											m ³				

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
				B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
						06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
						11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—				
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」									

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0096
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月12日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月12日		(木)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A				2018/4/10	2018/4/10	2018/4/9			
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL			
	元請会社				担当者			TEL			
	線量測定年月日	2017/11/27	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	189,29	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板 (T170005)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	280 mSv/h
	2	フランジタンク片側板 (T170142)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	270 mSv/h
3	フランジタンク片側板 (T170167)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	100 mSv/h	
4	フランジタンク片側板 (T170189)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	300 mSv/h	
5						m ²					
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。											

線量測定内容			
測定日	2018年4月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	フランジタンク片側板 (T170005)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 10:00	21 m ²		T170005	1
2	1	1	フランジタンク片側板 (T170142)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 10:00	21 m ²		T170142	1
3	1	1	フランジタンク片側板 (T170167)	2 μSv/h	7 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 10:00	21 m ²		T170167	1
4	1	1	フランジタンク片側板 (T170189)	2 μSv/h	8 μSv/h	8 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 10:00	21 m ²		T170189	1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0097
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月12日		11:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 欄 ※ モ	保管希望日時	2018年4月12日		(木)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/9	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/27	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	189,29	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板 (T170128)	B	11	D	A	21 m ²	0.005 mSv/h	0.008 mSv/h	β 有	300 mSv/h
	2	フランジタンク片側板 (T170146)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	80 mSv/h
3	フランジタンク片側板 (T170154)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	220 mSv/h	
4	フランジタンク片側板 (T170157)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	200 mSv/h	
5	フランジタンク片側板 (T170168)	B	11	D	A	21 m ²	0.005 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	50 mSv/h	
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。											

線量測定内容			
測定日	2018年4月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 ※ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板 (T170128)	2 μSv/h	2 μSv/h	2 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21 m ²		T170128	1
	2	1	フランジタンク片側板 (T170146)	2 μSv/h	4 μSv/h	4 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21 m ²		T170146	1
	3	1	フランジタンク片側板 (T170154)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21 m ²		T170154	1
	4	1	フランジタンク片側板 (T170157)	2 μSv/h	4 μSv/h	4 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21 m ²		T170157	1
	5	1	フランジタンク片側板 (T170168)	2 μSv/h	7 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21 m ²		T170168	1
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
※ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—		
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—		
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類		
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他		
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—		
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—		
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—		
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」							
		注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
		注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5:β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。															

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業 主管 G 記入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率		
			①	②	③										
	6	フランジタンク片側板(T170185)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	110	mSv/h
	7	フランジタンク片側板(T170159)	B	11	D	A	21	m ²	0.004	mSv/h	0.006	mSv/h	β 有	270	mSv/h
	8	フランジタンク片側板(T170194)	B	11	D	A	21	m ²	0.005	mSv/h	0.006	mSv/h	β 有	60	mSv/h
	9	フランジタンク片側板(T170176)	B	11	D	A	21	m ²	0.004	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	150	mSv/h
	10	フランジタンク片側板(T170179)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	150	mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	04	—	0097

保 管 実 績 記 入 欄	No.	枝 番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	フランジタンク片側板(T170185)	2	μ Sv/h	4	μ Sv/h	4	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21	m ²		T170185	1
	7	1	フランジタンク片側板(T170159)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21	m ²		T170159	1
	8	1	フランジタンク片側板(T170194)	2	μ Sv/h	5	μ Sv/h	5	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21	m ²		T170194	1
	9	1	フランジタンク片側板(T170176)	2	μ Sv/h	9	μ Sv/h	9	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21	m ²		T170176	1
	10	1	フランジタンク片側板(T170179)	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h	6	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21	m ²		T170179	1
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			
													m ²			

* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」・B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0098
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月12日		11:00
【保管時の指示事項等】				

作 業 主 管 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月12日		(木)	11:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/9	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/11/20	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	189,29	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板 (T170170)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	300 mSv/h
	2	フランジタンク片側板 (T170162)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	200 mSv/h
3	フランジタンク片側板 (T170213)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	150 mSv/h	
4						m ²					
5						m ²					
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。											

線量測定内容			
測定日	2018年4月12日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板 (T170170)	2 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21 m ²		T170170	1
	2	1	フランジタンク片側板 (T170162)	2 μSv/h	7 μSv/h	8 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21 m ²		T170162	1
	3	1	フランジタンク片側板 (T170213)	2 μSv/h	6 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/12 11:00	21 m ²		T170213	1
									m ²			
									m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —	
		D	伐 採 木						
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)									
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。									
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0099
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	10:00		承認	審査	作成													
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)																				
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/9												
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL															
	元請会社					担当者	TEL															
	線量測定年月日	2017/11/8	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	189,29												
	No.	保管物名	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率											
			①	②	③																	
			1	フランジタンク片底板 (T170127)	B	11						D	A	21	m ²	0.005	mSv/h	0.006	mSv/h	β 有	70	mSv/h
			2	フランジタンク片底板 (T170136)	B	11						D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.002	mSv/h	β 有	270	mSv/h
3	フランジタンク片底板 (T170151)	B	11	D	A	21	m ²	0.005	mSv/h	0.015	mSv/h	β 有	200	mSv/h								
4	フランジタンク片底板 (T170158)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	60	mSv/h								
5	フランジタンク片底板 (T170098)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	270	mSv/h								
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。																						

線量測定内容			
測定日	2018年4月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片底板 (T170127)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170127	1
	2	1	フランジタンク片底板 (T170136)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170136	1
	3	1	フランジタンク片底板 (T170151)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170151	1
	4	1	フランジタンク片底板 (T170158)	2 μSv/h	5 μSv/h	5 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170158	1
	5	1	フランジタンク片底板 (T170098)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170098	1
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
メ モ												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
		状 態		D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」	

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	04	—	0099

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0100
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作 業 主 管 入 欄	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/9	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/10/19	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	189,29	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片側板(T170183)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	200 mSv/h
	2	フランジタンク片側板(T170196)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	80 mSv/h
3	フランジタンク片側板(T170254)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	60 mSv/h	
4	フランジタンク片側板(T170234)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	90 mSv/h	
5	フランジタンク片側板(T170188)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	70 mSv/h	
メ モ	注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。										

線量測定内容			
測定日	2018年4月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(T170183)	2 μSv/h	12 μSv/h	12 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170183	1
	2	1	フランジタンク片側板(T170196)	2 μSv/h	6 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170196	1
	3	1	フランジタンク片側板(T170254)	2 μSv/h	7 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170254	1
	4	1	フランジタンク片側板(T170234)	2 μSv/h	8 μSv/h	8 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170234	1
	5	1	フランジタンク片側板(T170188)	2 μSv/h	7 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170188	1
メ モ	* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載											

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ホリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
	②	C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	③		状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)
 注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。
 注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦礫類・伐採木管理票（別紙）

作業主 管 G 記 入 欄	No.	保 管 物 名	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta \cdot \alpha$ 汚染の 有無	$\beta + \gamma$ 線量率			
			①	②	③										
	6	フランジタンク片側板(T170237)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.003	mSv/h	β 有	5	mSv/h
	7	フランジタンク片側板(T170265)	B	11	D	A	21	m ²	0.002	mSv/h	0.004	mSv/h	β 有	70	mSv/h
	8	フランジタンク片側板(T170279)	B	11	D	A	21	m ²	0.003	mSv/h	0.004	mSv/h	β 有	15	mSv/h
	9	フランジタンク片側板(T170271)	B	11	D	A	21	m ²	0.004	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	60	mSv/h
	10	フランジタンク片側板(T170261)	B	11	D	A	21	m ²	0.003	mSv/h	0.004	mSv/h	β 有	5	mSv/h

固体廃棄物管理G記入欄					
受付番号	高2018	—	04	—	0100

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	6	1	フランジタンク片側板(T170237)	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21	m ³		T170237	1
	7	1	フランジタンク片側板(T170265)	2	μ Sv/h	7	μ Sv/h	8	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21	m ³		T170265	1
	8	1	フランジタンク片側板(T170279)	2	μ Sv/h	3	μ Sv/h	3	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21	m ³		T170279	1
	9	1	フランジタンク片側板(T170271)	2	μ Sv/h	6	μ Sv/h	7	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21	m ³		T170271	1
	10	1	フランジタンク片側板(T170261)	2	μ Sv/h	4	μ Sv/h	4	μ Sv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21	m ³		T170261	1
													m ³			
													m ³			
													m ³			
													m ³			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用／減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ホリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0101
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	10:00		承認	審査	作成	
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)								
	発生場所	定検機材倉庫A							2018/4/10	
	作業主管G	貯留設備グループ			監理員			TEL		
	元請会社				担当者			TEL		
	線量測定年月日	2017/11/23	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	
							189,29			
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	
			①	②	③			β + γ 線量率		
	1	フランジタンク片側板(T170214)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有
2	フランジタンク片側板(T170233)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	150 mSv/h
3	フランジタンク片側板(T170235)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	200 mSv/h
4	フランジタンク片側板(T170232)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	200 mSv/h
5						m ²				
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。										

線量測定内容			
測定日	2018年4月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片側板(T170214)	2 μSv/h	8 μSv/h	10 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170214	1
	2	1	フランジタンク片側板(T170233)	2 μSv/h	9 μSv/h	9 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170233	1
	3	1	フランジタンク片側板(T170235)	2 μSv/h	7 μSv/h	8 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170235	1
	4	1	フランジタンク片側板(T170232)	2 μSv/h	7 μSv/h	8 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170232	1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —			
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —			
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類			
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他			
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —			
		C	難燃物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —			
		D	伐 採 木	01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —			
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0102
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 G 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/9	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/10/11	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	189,29	
	No.	※カテゴリ				物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率	
		①	②	③							
	1	フランジタンク片底板 (T170051)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.002 mSv/h	β 有	1 mSv/h
	2	フランジタンク片底板 (T170054)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.006 mSv/h	β 有	80 mSv/h
3	フランジタンク片底板 (T170077)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	200 mSv/h	
4	フランジタンク片底板 (T170104)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.003 mSv/h	β 有	27 mSv/h	
5						m ²					
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。											

線量測定内容			
測定日	2018年4月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
1	1	1	フランジタンク片底板 (T170051)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170051	1
2	1	1	フランジタンク片底板 (T170054)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170054	1
3	1	1	フランジタンク片底板 (T170077)	2 μSv/h	2 μSv/h	2 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170077	1
4	1	1	フランジタンク片底板 (T170104)	2 μSv/h	2 μSv/h	2 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170104	1
									m ²			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。 再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05	—
				06 —	07 —	08 —	09 —	10	—
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05	塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15	—
	②	C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05	—
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05	—
		D	伐 採 木						
	③	状 態	D:乾燥, W:湿気有	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ 線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β 汚染無の場合は、β + γ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013704 - 0018

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0103
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

作業 主 管 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	10:00		承認	審査	作成		
	作業件名	タンク減容・保管委託(H30)									
	発生場所	定検機材倉庫A						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/9	
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員	TEL				
	元請会社					担当者	TEL				
	線量測定年月日	2017/12/18	測定者			測定器名	F1-ICWBL、H		管理番号	189,29	
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β・α 汚染の有無	β + γ 線量率		
	① ② ③										
	1	フランジタンク片底板 (T170195)	B	11	D	A	21 m ²	0.002 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	100 mSv/h
	2	フランジタンク片底板 (T170257)	B	11	D	A	21 m ²	0.003 mSv/h	0.004 mSv/h	β 有	50 mSv/h
3	フランジタンク片底板 (T170227)	B	11	D	A	21 m ²	0.004 mSv/h	0.005 mSv/h	β 有	120 mSv/h	
4	フランジタンク片底板 (T170291)	B	11	D	A	21 m ²	0.006 mSv/h	0.012 mSv/h	β 有	250 mSv/h	
5						m ²					
注: α 有、β α 有の場合、α 線量情報をここに記載のこと。 ※20ftコンテナに積み込み、保管致します。											

線量測定内容			
測定日	2018年4月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICWBL	F1-ICWBL-55
2			
3			
4			

保管 実績 記入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	フランジタンク片底板 (T170195)	2 μSv/h	10 μSv/h	10 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170195	1
	2	1	フランジタンク片底板 (T170257)	2 μSv/h	6 μSv/h	7 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170257	1
	3	1	フランジタンク片底板 (T170227)	2 μSv/h	9 μSv/h	10 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170227	1
	4	1	フランジタンク片底板 (T170291)	2 μSv/h	3 μSv/h	3 μSv/h	エリアP1(フランジタンク)	2018/4/13 10:00	21 m ²		T170291	1
									m ²			

*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載

メ
モ

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—	
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—	
		B	不 燃 物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類	
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他	
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—	
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—	
				D	伐 採 木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05
		②	状 態			D:乾燥, W:湿気有		③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β+γ線量率欄に「β+γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β+γ線量率の記載不要。

※カテゴリー	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—
		②	状態			D:乾燥, W:湿気有	③	履歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」				

注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。 注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。 注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0024

作業主 管 記 入 欄	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	9:00		承認	審査	作成		
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事									
	発生場所	H3						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/10	
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL		
	元請会社					担当者			TEL		
	線量測定年月日	2018/3/14	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	T-JCWBL-03	
	No.	※カテゴリ			物 量		測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \alpha$ 汚染の有無
1	不燃物(土砂)	B	04	D	A	11 m ³	0.025 mSv/h	0.04 mSv/h	β 有	0.05 mSv/h	
2						m ³					
3						m ³					
4						m ³					
5						m ³					
メモ	8m3コンテナ2基分(No49、50)										

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0105
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月13日		9:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年4月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-100	
2				
3				
4				

保管 実績 記 入 欄	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量		再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				10 μ Sv/h	30 μ Sv/h	30 μ Sv/h	40 μ Sv/h	10 m ³	10 m ³							
1	1		10m3コンテナ	10 μ Sv/h	30 μ Sv/h	30 μ Sv/h	40 μ Sv/h	エリアW1	2018/4/13 9:00	10 m ³		OK-0038	1			
1	2		10m3コンテナ	10 μ Sv/h	35 μ Sv/h	40 μ Sv/h		エリアW1	2018/4/13 9:00	10 m ³		OK-0085	1			
										m ³						
										m ³						
										m ³						
メモ	*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メモ	上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納。															

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —	
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —	
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類	
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他	
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —	
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —	
	01 伐採木(幹・根)			02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —		
	D	伐 採 木							
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」、B:「工事のために持ち込まれた物」			
注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)									
注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。									
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。									

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013803 - 0024

作 業 主 管 G 記 入 欄 メ モ	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	10:00		承認	審査	作成					
	作業件名	H3エリアタンク基礎他設置工事並びに関連除却工事												
	発生場所	H3						2018/4/10	2018/4/10	2018/4/10				
	作業主管G	貯留設備土木グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
	線量測定年月日	2018/3/14	測定者			測定器名	電離箱式サーベイメーター		管理番号	T-JCWBL-03				
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率		β・α 汚染の有無	β + γ 線量率				
1	不燃物(土砂)	B	04	D	A	12	m ³	0.03	mSv/h	0.005	mSv/h	β 有	0.04	mSv/h
2							m ³							
3							m ³							
4							m ³							
5							m ³							
8m3コンテナ2基分(No47、48)														

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0106
				2018/4/11
調整後保管日時		2018年4月13日		10:00
【保管時の指示事項等】				

線量測定内容				
測定日	2018年4月13日			
測定No.	氏名	測定器	管理番号	
1		ICWBL	F1-ICWBL-100	
2				
3				
4				

保 管 実 績 記 入 欄 メ モ	No.	枝 番	保 管 物 名	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	β + γ 線量率	保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
	1	1	10m3コンテナ	10 μSv/h	20 μSv/h	30 μSv/h	エリアW1	2018/4/13 10:00	10 m ³		A0219	1
	1	2	10m3コンテナ	10 μSv/h	30 μSv/h	35 μSv/h	エリアW1	2018/4/13 10:00	10 m ³		C0006	1
									m ³			
									m ³			
									m ³			
									m ³			
* 線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載												
上記の保管物は10m3コンテナ2基に分けて収納。												

※カ テ ゴ リ	①	A	可 燃 物	01 紙・ウエス類	02 プラスチック・ポリ・ビニール類	03 木材類	04 可燃物その他	05 —
				06 —	07 —	08 —	09 —	10 —
		B	不 燃 物	01 金属ガラ	02 コンクリートガラ	03 機器類・制御盤類	04 土砂類	05 塩化ビニール類
				06 保温材	07 石綿含有物	08 ケーブル類	09 アスファルトガラ	10 不燃物その他
				11 フランジタンク本体	12 フランジタンク付属品	13 —	14 —	15 —
		C	難 燃 物	01 ゴム類	02 難燃シート類	03 ホース類	04 難燃物その他	05 —
				01 伐採木(幹・根)	02 伐採木(枝・葉)	03 —	04 —	05 —
	②	状 態	D:乾燥, W:湿気有	③	履 歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」		

注1:可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2:伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)

注3:飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4:塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。

注5:β汚染有の場合、表面線量率欄には「γ」のみの線量率を記載し、β + γ線量率欄に「β + γ」の線量率を記載すること。β汚染無の場合は、β + γ線量率の記載不要。

瓦 礫 類 ・ 伐 採 木 管 理 票

計上No. 6013708 - 0059

作業主管理記入欄	保管希望日時	2018年4月13日		(金)	11:00		承認	審査	作成					
	作業件名	G1エリアタンク他設置工事												
	発生場所	Jエリア						2018/4/11	2018/4/9	2018/4/9				
	作業主管G	貯留設備グループ				監理員			TEL					
	元請会社					担当者			TEL					
G	線量測定年月日	2018/4/9		測定者			測定器名	F1-ICWBL-54		管理番号	54			
	No.	※カテゴリ			物 量	測定場所 雰囲気線量率	表面線量率	$\beta \cdot \alpha$ 汚染の有無	$\beta + \gamma$ 線量率					
	① ② ③													
	1	木製パレット	A	03	W	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
	2	ダンボール	A	01	W	B	2	m ²	0.01	mSv/h	0.01	mSv/h	無	
3	ビニール	A	02	W	B	1	m ²	1	mSv/h	0.01	mSv/h	無		
4							m ²							
5							m ²							
メ	注: α 有、 $\beta \alpha$ 有の場合、 α 線量情報をここに記載のこと。													
モ	巡回回収希望 GQ-27 J6-Aタンク群北側 仮置き場													

固体廃棄物管理G記入欄				受付
受 付 番 号				
高2018	—	04	—	0118
				2018/4/12
調整後保管日時		2018年4月13日		10:30
【保管時の指示事項等】				
時間調整をしています。				
発生場所にて管理票の確認。				
運搬車を配備致しますので				
保管物の詰込みをお願いします。				

線量測定内容			
測定日	2018年4月13日		
測定No.	氏名	測定器	管理番号
1		ICW	F1-ICW-158
2			
3			
4			

保管実績記入欄	No.	枝番	保管物名	測定場所 雰囲気線量率		表面線量率		$\beta + \gamma$ 線量率		保管場所	保管日時	物 量	再利用/ 減容可否	コンテナNo.	測定No.
				2	μ Sv/h	2	μ Sv/h								
1	1	木製パレット	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/4/13 10:00	1.5	m ²			1
2	1	ダンボール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/4/13 10:00	1.7	m ²			1
3	1	ビニール	2	μ Sv/h	2	μ Sv/h			エリアO	2018/4/13 10:00	0.8	m ²			1
												m ²			
												m ²			
*線量測定は保管場所があらかじめ決まっている伐採木等は省略する。再利用/減容が可能と推測される場合、再利用:RU、減容:VRと記載。固体庫保管時はコンテナNo.記載															
メ															
モ															

※カテゴリ	①	A	可燃物	01	紙・ウエス類	02	プラスチック・ポリ・ビニール類	03	木材類	04	可燃物その他	05	—
				06	—	07	—	08	—	09	—	10	—
		B	不燃物	01	金属ガラ	02	コンクリートガラ	03	機器類・制御盤類	04	土砂類	05	塩化ビニール類
				06	保温材	07	石綿含有物	08	ケーブル類	09	アスファルトガラ	10	不燃物その他
				11	フランジタンク本体	12	フランジタンク付属品	13	—	14	—	15	—
		C	難燃物	01	ゴム類	02	難燃シート類	03	ホース類	04	難燃物その他	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		D	伐採木	01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
				01	伐採木(幹・根)	02	伐採木(枝・葉)	03	—	04	—	05	—
		②	状 態	D:乾燥, W:湿気有		③	履歴	A:「1F構内にあった物」, B:「工事のために持ち込まれた物」					
注1: 可燃・難燃物は原則として透明袋に収納すること。注2: 伐採木の積み上げ高さは固体廃棄物管理Gの指示に従うこと。(最大で5m以下とする。)													
注3: 飛散抑制等必要な措置を講じ運搬し、保管エリアに応じた飛散防止(養生、容器収納等)を施し保管すること。注4: 塩化ビニール類については可燃・難燃側に持込みのこと。													
注5: β 汚染有の場合、表面線量率欄には「 γ 」のみの線量率を記載し、 $\beta + \gamma$ 線量率欄に「 $\beta + \gamma$ 」の線量率を記載すること。 β 汚染無の場合は、 $\beta + \gamma$ 線量率の記載不要。													